

中期学校運営計画

# 日枝プラン06-10

平成21年4月

横浜市立日枝小学校

本校では次のように学校づくりを進めています

<学校教育目標>

願う子ども像

生き生き日枝っ子

「人は人とのかかわりで育つ」を基調に知・徳・体のバランスのとれた成長をめざします。

<学校経営方針>

創り出したい学校像

「学校が楽しい」「先生・友だちが大好き」

節度と感動のある学校生活を子どもたちが創り出す中で、一人ひとりの「居場所」を創っていきます。

<指導の重点>

A 魅力ある学校づくり

○わかったという喜び

○できたという自信

○仲間の中で感じる思いやり

①基礎力の定着を図る学習指導

②表現力・読解力の向上をめざす学習指導

③統一的な学校生活をめざし、教科等との関連を図る総合活動

④体験を重視した目的的な単元構成を図る総合活動

⑤感動を共有できる集団活動

⑥健やかな体をつくり、自らを育む健康教育

⑦節度と規律のある集団生活

B 保護者・地域と共に育てる関係づくり

○共に学ぶ

①教育や子育てについて共に学ぶ場の充実

○共に考える

②教育相談の充実

③学校公開・学校評価の推進

○共に育む

④ボランティアの積極的活用

⑤地域と連携した安全指導

C 信頼される教職員づくり

○自ら学ぶ

①教師力の向上をめざした授業研究

○互いに学ぶ

②コーディネーターを中心とした組織的な児童指導

○外から学ぶ

③外部評価の積極的活用

④校内研修による自己研鑽

## <改善の視点と取り組み目標>

### A 魅力ある学校づくり

子どもたちが、「学校が楽しい」「先生・友だちが大好き」と実感できる学校生活や学習をつくり、一人ひとりの自己肯定感を高めていくことが大切です。

#### ①基礎力の定着を図る学習指導

◎子どもたちの学習や健康に必要な力を着実に伸ばすとともに、自らの成長を実感できるようにします。

【復習タイム】 ○学習時間内に基礎的な内容を扱い、継続的に行います。

【朝自習】 ○朝自習の時間を活用して漢字や計算などの学習にくり返し取り組みます。

【個に応じる指導】 ○少人数指導や個別的な学習指導を行います。

#### ②表現力・読解力の向上をめざす学習指導

◎聞く・話す・読む・書くなどの豊かなコミュニケーション能力を国語の学習以外でも身につけていきます。

【読書・読み聞かせ】 ○朝自習の時間に読書に取り組み、協力者による「読み聞かせ」を行っていきます。

【国際理解教室】 ○英語教育の充実に向け、外国人講師などによる国際理解教室を行い、外国の文化や言語に慣れ親しむ時間を設けていきます。

#### ③統一的な学校生活をめざし、教科等との関連を図る総合活動

◎学校生活全般を「総合活動」ととらえ、各教科等で身につけた力を総合的に活用できるようにします。

【学習の総合化】 ○各教科の内容や活動を関連づけ、学習を総合的に扱っていきます。

・「なかよし」(低学年)、「ともだち」(中学年)、「仲間」(高学年)のつながりを図ります。

○本校の「目標系列・内容系列」をもとに各学級の年間指導計画を毎年作ります。

#### ④体験を重視した目的的な単元構成を図る総合活動

◎目的的な単元構成を図り、「わかってできる」「生活に生かせる」問題解決学習を展開していきます。

【地域に学ぶ】 ○「まちで学び・まちに学び・まちを創る」ことをめざし、地域を教材として学習を進めます。

【人に学ぶ】 ○人(まちの人・友だち)とのかかわりを大切に、自他のよさに気づき共に高め合います。

#### ⑤感動を共有できる集団活動

◎活動を共に創りあげる楽しさや感動を分かち合う喜びを味わえる行事づくりをめざします。

【体験学習】 ○自然のよさを味わい、自分たちで活動を創りやり遂げる喜びを味わえるようにします。

・愛川宿泊体験学習(4年)、赤城宿泊体験学習(5年・6年)など

【学校行事等】 ○異学年の友達と協力する喜びや自分のめあてに挑戦する楽しさを味わえるようにします。

・運動会、日枝っ子まつり、なわとび大会、卒業式など

#### ⑥健やかな体をつくり、自らを育む健康教育

◎心身ともに健やかな成長をめざし、自ら健康で安全な生活を送ることができるようにします。

【食育】 ○体をつくる食べ物の大切さや働きについて理解し、自らバランスよく食べることができるようにします。

#### ⑦節度と規律のある集団生活

◎地域や集団の一員としての自覚を深め、生活をよりよく過ごそうとする実践的な態度を育みます。

【豊かな心】 ○学校生活を見直し、挨拶や服装、安全のきまりなど集団のルールやマナーについて自ら改善を図れるようにします。一人ひとりが活躍する場をつくり成就感や仲間意識を高めます。

## <改善の視点と取り組み目標>

### B 保護者・地域と共に育てる関係づくり

「信頼される学校づくり」をめざし、子どもたちの健やかな成長を図るためには、学校・家庭・地域と連携し、共に育てていくことが必要です。

#### ①教育や子育てについて共に学ぶ場の充実

◎地域や保護者の方と一緒に、教育や子育てについて語り合える場を積極的に設けていきます。

【「まち」懇話会】◎委員の方を招き、「まちとともに歩む学校づくり懇話会」を行います。

【懇談会】◎学年・学級ごとの懇談会を充実させ、教師と保護者、保護者同士の結びつきを強めます。  
・懇談会におけるエンカウンターなどの実施、就学セミナー、成人学級との連携など

【授業参観】◎地域や保護者の方が学習活動や行事に進んで参加し、共に学ぶ場の充実を図っていきます。

#### ②教育相談の充実

◎担任以外にも養護教諭や学校カウンセラー、児童指導コーディネーターによる相談の充実を図ります。

【相談窓口の拡大】◎窓口を拡大し、保護者にとって相談しやすい体制を作っていきます。

【交換授業の実施】◎交換授業や養護教諭による授業等を行うことで、複数の教職員の目で一人ひとりの子どもたちを見ていき、個に応じた対応を心がけていきます。

【個人面談】◎個人面談の工夫により、保護者や子どもとの信頼関係を築いていきます。

#### ③学校公開・学校評価の推進

◎開かれた学校として、情報をわかりやすく発信すると共に学校評価を積極的に取り入れていきます。

【ホームページ】◎ホームページ委員会を立ち上げ、学校ホームページの内容を更新していきます。

◎中期学校運営計画「日枝プラン」を毎年、更新していきます。

【保護者評価】◎保護者による評価を充実させ、学校運営にいかしていきます。

【教職員学校評価】◎教職員による学校評価を行い、その結果を知らせ学校運営にいかしていきます。

【活動報告】◎学校だよりなどで広報活動を充実させ、教育活動の状況や子どもの様子を知らせます。

【「まち」懇話会】◎懇話会を開催し、地域の方から見た学校運営や子どもの様子について意見を頂きます。

#### ④ボランティアの積極的活用

◎地域の方による教育ボランティアを活用し学習活動の充実を図っていきます。

【ふれあい授業】◎土曜参観日等には地域の「ふれあい先生」による授業を行います。

【ちょこっとボランティア】◎クラブ活動や読み聞かせなどで地域の方の協力を広げていきます。

【ふれあい先生】◎授業や体験学習等の補助をしてもらう学生ボランティアを募り拡充させていきます。

#### ⑤地域と連携した安全指導

◎地域や学校内での防犯・防災意識を高め、登下校や学習中の安全を確保していくことをめざします。

【安全設備】◎正門や裏門への電磁オートロック、インターフォンの設置による防犯を行います。

【人的警備】◎登下校における安全確保や学校周辺のパトロールなどを職員やボランティアが毎日行います。

【関係機関との連携】◎町内会、青少年指導員や体育指導員、警察等と連携し、防犯の強化に努めます。

【安全点検】◎PTA校外委員や子どもたちと共に地区の点検をし「安全マップ」をつくり見直します。

【安全教室】◎全校児童や職員を対象とした「防犯教室」「交通安全教室」などを実施します。

## <改善の視点と取り組み目標>

### C 信頼される教職員づくり

教職員一人ひとりの教師力や学校としての組織力を高めていくことによって、地域・保護者や子どもたちとの信頼関係を築いていくことが大切です。

#### ①教師力の向上をめざした授業研究

◎総合活動を中心として毎日の教育活動の質的向上を図り、魅力ある授業づくりをめざしていきます。

【年間指導計画】 ○学級ごとに各教科等の年間指導計画を作り、継続的な見直しを行っていきます。

【研究授業】 ○全教員が年間を通じて「研究授業」を行い、他校の教員に批評を受けることで、授業力を高めていきます。

#### ②コーディネーターを中心とした組織的な児童指導

◎子どもたちの様々な問題について組織的な対応を行うことで児童指導の充実を図ります。

【児童指導コーディネーター】 ○児童指導担当者を設け問題の早期発見や予防、組織的な対応に努めます。

【ふれあい先生】 ○学生ボランティアを活用し、担任や担当と共に一人ひとりの子どもに必要な対応をします。

【交換授業の実施】 ○学年内を中心とした交換授業や養護教諭による授業などを行うことで、複数の教職員の目で一人ひとりの子どもを見ていき、個に応じた指導の充実に努めます。

#### ③外部評価の積極的活用

◎外部評価を充実させ、教育活動の成果と課題をはっきりとさせることで、子どもたちにとって充実した学校生活づくりをめざします。

【学校公開・研究授業】 ○外部講師や他校の教職員を招き、批評を受けることで授業力を高めます。

・アドバイザースタッフ（臨床心理士・警察の少年問題担当者・民間教育研究機関等）

【学校行事の開放】 ○学校へ行こう週間や運動会、日枝っ子まつりなどの行事に対し、より多くの保護者の参加を促し評価を受けます。

#### ④校内研修による自己研鑽

◎校内研修の充実を図り、教職員一人ひとりの教師力を高めていきます。

【教師塾】 ○学級経営や児童理解を中心とした体験的な研修会を行い、基本的な指導力を高めます。

○子どもや教育にかかわる外部講師を招き専門的な立場から指導を受け、視野の拡大に努めます。

## 人材育成の考え方

### ○個の向上

「子どもに学ぶ、保護者に学ぶ、同僚に学ぶ」ため、「子ども・保護者・同僚」の声に謙虚に耳を傾け、実践的な力量を高める。その「実践的な力量の向上」を通して「子どもたち・保護者と信頼関係」を築いていく。

### ○組織としての向上

「学校・家庭・地域、みんなで協働していく」ことを基調に「教職員の協働」「地域・保護者との連携」を図ることによって「組織力」を高めていく。

## 平成21年度の重点取り組み項目

- ◎ 公開授業研究会を年7回実施して、外部講師や他校の方からの評価を仰ぎ、総合活動を核とした充実を図ります。また、学校づくりのビジョンと、幅広い視野（保護者・地域・子ども・教職員間 等）からの学校評価を連動させながら、魅力ある授業作りに向けて改善を図ります。
- ◎ 児童指導コーディネーターを設置したり、保護者に対する相談窓口の拡大を図ったりするなど、計画的・組織的対応に取り組むことによって、児童指導の充実を図ります。
- ◎ 教科等と関連を図った総合活動の実践を通して、教育課程の編成を進めていきます。

## 平成21年度 検討事項

- 横浜版学習指導要領の実施に向けて
  - ・ 各教科等の教育課程の編成
  - ・ Y I C Aの授業実践
  - ・ 次年度からの授業日数と授業時数
- 単年度での学級編制について
  - ・ 学校の状況と子どもの変化
  - ・ 教員の短期間での入れ替わりによる弊害
- 保護者の負担軽減を目指した準公金の運用について
  - ・ 学年費等、保護者の負担軽減を目指した購入計画
  - ・ 年間を見通した予算計画
  - ・ 私費購入物品と公費購入物品の違い
- 創立100周年記念事業について
  - ・ 校内の体制づくり
  - ・ 事業内容の計画

## 【まちとともに歩む学校づくり懇話会】等の意見

(平成19年11月実施)

日枝小学校のマニフェストを策定するにあたり、平成19年11月に委員の方々に意見をいただきました。今回は、「運動会」「日枝っ子まつり」について話していただきました。主な意見は次の通りです。

### 〈運動会〉

- 日枝小学校の運動会に対する保護者の期待は大きいものである。
- 体育指導員・青少年指導員の協力が密である。年齢を重ねてくると、学校との接点が少なくなるため、体育指導員・青少年指導員として参加する機会があり、ありがたく思っている。

### 〈日枝っ子まつり〉

- 発表の際、質問に対する答えだけではなく、詳しく説明しているのがよい。子どもたちの意欲の表れだと思われる。また、昔から継続している活動（大岡川）について取り組んでいる学級もあり、以前の発表よりもさらにレベルアップした内容だった。
- 発表が始まる前の表情やかまえに子どもたちの意欲が見られた。1年生なりによく作った屏風絵や、6年生の大人のようなアイデアにも感心した。学年の発達に応じた工夫が見られる。
- 1年生からこのような機会を設けることで、人前で堂々と話せる子どもが育つと思う。
- 掲示物が素晴らしい。よく調べた内容をていねいにまとめることができていた。昔の中学校の文化祭レベルと考えられる。また、「日枝っ子まつり」が親子交流の場となっている。中学校でも総合活動で培われる力を伸ばしていくことで、小中がつながると思われる。
- 「運動会」にしても「日枝っ子まつり」にしても、校庭・校舎がせまいという与えられた条件の中で前向きに活動している。掲示物等の作品に感心した。
- 今回の6年生の各クラスが取り組んだテーマは、私自身大変興味深い内容だった。掲示物や子どもたちの発表などもとてもわかりやすく、ただただ、感心するばかりです。しかし、教室内において三カ所ぐらいで説明が始まると聞きづらい。
- 今後、これらの学習活動が子どもたちに有意義なものになると良いと思う。
- 地域の一員として元気で明るい日枝っ子たちを見守っていきたいと思う。

## これまでの取り組み結果

### A-①【個に応じる指導】

- 算数科や理科などで、習熟度に応じて個別に学習を進めることができるよう協力指導を行い、学習に対する子どもの興味・関心が高まった。

### ②【読書・読み聞かせ】

- P T A・地域の方がボランティアで、毎週金曜日(木曜日)に読み聞かせの会を実施している。子どもたちの聞く力を育む一助となった。
- 毎週金曜日の朝（8：30～8：40）に読書タイムを設けたことで、子どもたちが読書の楽しさを味わうことができた。

### 【国際理解教室】

- 各学年、年5～6回外国人講師の方による国際理解教室を実施している。外国の文化や言語に親しむことができた。

### ③【学習の総合化】

- 総合活動の年間指導計画に教科等の内容を関連付け、学習を総合的に展開した。
- 総合活動と教科の関連を意図的・計画的に図り、子どもたちの学習に対する興味・関心が高まるようにした。

### ④【地域に学ぶ】

- 地域の材を成長過程に応じて取り上げて学習活動を展開した。（まちに学ぶ）
- 地域の材を取り上げた学習活動では、地域に出る機会を多く設けた。（まちで学ぶ）
- 地域の材を取り上げることで、積極的に地域にかかわっていく子どもを育てた。  
(まちを創る)

### 【人に学ぶ】

- 地域の材と人とのかかわりながら学習に取り組むようにすることで、人とふれあうことの大切さを学ぶことができたようにした。
- 学習の中で様々な人とふれあうようにした。

### ⑤【体験学習】

- 4・5・6年生と系統的なねらいをもち、各学年2泊3日で体験学習を実施した。
- 5・6年生の実施施設（赤城少年自然の家）を同じにすることで子どもたちが自ら計画を立て、活動を実践することができるようにした。

### 【学校行事等】

- 運動会では、5・6年生が中心となって活動をつくりあげた。
- 宿泊・体験的行事等、子どもたちの実行委員会を組織して活動をつくりあげた。

### ⑥【健康教育】

- 毎日の給食時、「ぱくぱくだより」を通して栄養バランスの大切さや食べ物の働きについて理解できるようにした。
- なわとび大会に向けて、全校の子どもたちが休み時間や朝の時間に自主的に短縄跳びや長縄跳びに取り組み、体力の向上に努めることができた。
- 年間2回、学校保健委員会を実施した。校医の先生や保護者、子どもが一緒になって健康について考えることができた。

### ⑦【豊かな心】

- 行事や集会の中で子どもの活躍する場面を多くつくり、たくさんの子どもの自信を高めることができたようにした。

## B-①【「まち」懇話会】

- 土曜参観日や日枝っ子まつりの機会に、委員の方との懇話会を実施した。

### 【懇談会】

- 学年全体で行うなど保護者同士の交流が深まるような工夫を各学年で行った。
- 「新入学生説明会」を「保護者セミナー」という形にして、子どもが生き生きと小学校生活を送ることができるような内容にした。

### 【授業参観】

- 保護者の方が学校に来る機会を月に1回以上設けるとともに、よりたくさんの方が参加できるように土曜参観日を設けた。

## ②【相談窓口の拡大】

- 週1日、スクールカウンセラーが常駐し相談窓口を広くした。
- 担任だけではなく、養護教諭、児童指導コーディネーター、スクールカウンセラーを紹介し、相談窓口を拡大した。

### 【個人面談】

- 5月・7月・12月に個人面談を実施する。また、それ以外でも保護者からの要望があるときには実施できるような体制をとった。

## ③【ホームページ】

- 保護者・地域の方を中心としたホームページ委員会の協力を得て、学校だより「校長あいさつ」を毎月更新した。
- 各学級の総合活動の様子を紹介をした。

### 【保護者評価】

- 前年度の保護者評価をもとに、今年度の学校運営計画や行事を見直した。

### 【活動報告】

- 学校だより等を通じて、学校の様子を発信した。

### 【「まち」懇話会】

- B①参照

## ④【ふれあい授業】

- 地域の方やふれあい先生による授業を実施している。

〈平成18年度実施例〉 英語に親しもう、コンピュータにふれよう  
ゴスペルで歌おう、読み聞かせをしてみよう

〈平成19年度実施例〉 米について学ぼう、コンピュータにふれてみよう  
炭について知ろう、読み聞かせをしてみよう

### 【ちょこっとボランティア】

- 毎週行っている読み聞かせで地域の方に協力していただいた。

### 【ふれあい先生】

- 学生ボランティアを募り、授業や体験学習の補助を行った

## ⑤【安全設備】

- 正門や裏門の電磁オートロック、インターフォンを設置して防犯に努めた。

### 【人的警備】

- 登下校における安全確保のため、職員やボランティア（警察OBも含む）の方が行った。また、校外委員を中心とした保護者による登下校の安全を図った。
- 放課後、地域パトロールを行うことで子どもの安全な生活に努めた。

**【関係機関との連携】**

○ 町内会、青少年指導員や体育指導員、警察等と連携し、防犯の強化に努めた。

**【安全点検】**

○ P T A校外委員や子どもたちとともに地区の点検をし「安全マップ」の見直しを行った。

**【安全教室】**

○ 全校児童や職員を対象とした「交通安全教室」「防犯教室」を実施した。

**C①【年間指導計画】**

○ 学級ごとに各教科等の年間指導計画を作り、年度始め、夏季休業中に見直しを行い、教育課程の充実に努めた。

**【研究授業】**

○ 授業公開や児童指導、教育相談などの相互研修による「公開授業研究会」を年間7回実施した。

○ 全教員が年間を通じて2回以上の「研究授業」を行い、他校や本校の教員に批評を受けることで授業力を高めた。

○ 外部講師や他校の教職員を招き、授業を公開することで教師一人一人の授業力を高めていた。(臨床心理士・警察の少年問題担当者・民間教育研究機関等)

**②【児童指導コーディネーター】**

○ 児童指導担当者を設け、問題の早期発見や予防、組織的な対応をしていた。

**【ふれあい先生】**

○ 学生ボランティアが担任や担当とともに一人一人の子どもに必要な対応を行っていた。

**【交換授業の実施】**

○ 学年内を中心とした交換授業や養護教諭、栄養教諭による授業を行うことで複数の教職員の目で一人一人の子どもを見ていき、個に応じた指導の充実に努めていた。

**③【学校公開・研究授業】**

○ 授業公開や児童指導などの相互研修による「公開授業研究会」を年間7回開催した。

○ 外部講師や他校の教職員を招き、授業を公開することで教師一人一人の授業力を高めていた。(臨床心理士・警察の少年問題担当者・民間教育研究機関等)

**【学校行事の開放】**

○ 運動会(10月)や日枝っ子まつり(11月)、学校へ行こう週間(2月)などに多くの保護者の参加を促した。

**④【教師塾】**

○ 学級経営や児童理解、授業力の向上などを中心とした体験的な研修会を行い、指導力を高めた。

**【小中連携】**

○ 近隣の中学校と連携し、中学生の職業体験を受け入れた。

○ 6年生が中学校の活動を見る機会を設けた。

○ サッカーやバスケットボールの早朝練習に中学生が自主的に参加して、交流を深めていた。

## 【まちとともに歩む学校づくり懇話会】等の意見

(平成18年6月・11月実施)

日枝小学校のマニフェストを策定するにあたり、平成18年12月に委員の方々に意見をいただきました。主な意見は次の通りです。

- 生活態度（挨拶や返事、姿勢、話を聞く態度など）が良くなってきている。学校全体での児童理解や児童指導に力を入れていくことはよい取り組みである。なお一層、家庭の協力を得て、子どもたちの「早寝・早起き・朝ごはん」などの規則正しい生活や「おはよう」「ありがとう」といったあいさつを励行していくことが必要である。
- 運動会や日枝っ子まつり（総合活動の学習発表会）などの行事に目を輝かせ、夢中で取り組む元気な姿に日枝っ子らしさを感じられ、嬉しく思う。
- 総合活動（なかよし・ともだち・仲間）を中心にして、自分たちのまちで働いている人や住んでいる人などに進んでかかわっているところがすばらしい。
- 12月に行われた高学年音楽発表会で、司会や曲紹介などの運営を子どもたちが上手に進めていたので感心した。中学1年生にも行事や生徒会における活躍の場を保障する必要があると感じた。また、教職員の交流なども積極的に行い、小中学校間での連携を図っていくとよい。

## 【まちとともに歩む学校づくり懇話会】意見

(平成20年6月21日月実施)

日枝小学校のマニフェストの実施状況について、平成20年6月に委員の方々に意見をいただきました。主な意見は次の通りです。

- 学校だよりについて
  - ・子どもが持ってくるのがよい。
  - ・子どもの様子がよく分かる。
- 「あ・い・さ・つ」について
  - ・語呂がよく、覚えやすい。
  - ・「オアシスは最高」は非常によい。
  - ・学校内だけではなく地域にも広げていきたい。
- まちの懇話会について
  - ・子どもたちと給食に食べられるのがうれしい。
  - ・毎回緊張してしまうので残していたが、今年で3年目になり初めて完食できた。
  - ・数十年ぶりに給食を食べられてうれしかった。
- 地域清掃について
  - ・副校長先生と竹中さんが継続的に行ってくれているのがありがたい。できれば今後も続けてくれると、自分たちが行っている「ポイ捨て早朝啓発運動」につながる。
- 学校評価システムについて
  - ・我々の外部評価を気にすることなく、必要とあれば子どもたちに厳しく指導をしてほしい。
  - ・「厳しい＝嫌い」ではないと思う。うちの子は「怒ると先生は怖い」と言っている。だからといって、学校や先生が嫌いなわけではない。

### ★教職員の自己評価を次年度の懇話会で公開することについて

- ・「ゆとり教育が学力低下につながる」という話をよく聞くが、実際はどうか。



- ・日枝小の総合活動は子どもたちにとって必要であり、児童理解そのものである。
- ・各学級や学年の柱であり、本校の特色であるので大事にしている。
- ・生活のリズムがよく、友達や先生との関係が良好であることは学習の基盤となる。
- ・総合活動と各教科を意図的に関連させることで子どもの学習に必然性が生まれ、意欲的に学ぶようになり学習内容や学習に必要な資質・能力が身に付いていく。
- ・単に知識を効率よく習得することだけが学力ではなく、実際に体験したと結びつき、生活に生きて働く「知恵」となるよう知識と経験の統一を図っている。

### ★防災について

- ・大地震による校舎の損壊などの危険性があるが本校は大丈夫か？



- ・既に耐久性や地質などを調査済み、問題はない。

## 【まちとともに歩む学校づくり懇話会】意見

(平成20年11月15日日枝っ子まつり後 実施)

大津顧問より

○日枝っ子まつりについて

- ・日枝小の特徴的行事である、
- ・難しい内容をよく発表していたので感心した。(総合大学のような)
- ・展示の仕方も各学級で工夫されている。

○学年だよりについて

- ・フレンズ南との交流を書いた作文が素晴らしい(5年生)

○連合町内会の運動会について

- ・今年度初めて行ったが、盛況だった。参加してくれた日枝小・共進中の職員に感謝している。
- ・隔年で開催していきたい。

武田PTA会長より

○運動会について

- ・立ち見にしたことについては大きな問題はなかった。
- ・高学年の子どもがすごい。得点にならない応援や係の活動を夢中で行った。
- ・先生方に感謝を申し上げたい。

○日枝っ子まつりについて

- ・子どもたちの掲示物や作製した物が工夫が凝らしてあった。
- ・個別級の踊りなども、よく練習を重ねていて表現としてよかった。

討議

○あいさつが十分にできない子どもが気になるが・・・

- ・少年野球などの練習時にも傾向が見られる。
- ・中学校でも励行しているが、今後の課題である。

○リーダーシップをとれる子どもが少なくなってきたが・・・

- ・グループとしてのまとまりが見られない。

○児童数の増加により、教室が足りない

- ・小学校は平成23年度まで児童数の増加傾向がある。
- ・中学校でも空き教室を何かと活用している。
- ・同じフロアに同学年が収まらないので、トラブルの原因となることもある

## 【まちとともに歩む学校づくり懇話会】意見

(平成21年6月20日土曜参観後 実施)

懇話会会則、第三条をもとに話していただいた

### 交流給食について

- 整然と用意されていた。
- 英語の歌を歌ってくれて嬉しかった。
- 食べていて味や量が分かった（緊張せず参加できた）。
- あいさつをよくしてくれて嬉しかった。
- 完食していたのが感心した。
- 「食のクイズ」をやっていて感心した。
- 1年生が元気だった。6年生と一緒に食べていてよかった。

### 授業参観について

#### 【道徳】

- 発言内容にやさしさがある。共感的である。
- 横浜に関する学習をしていたのがよかった。
- 上級生にいくほど、学校教育目標「生き生き日枝っ子」に迫っていたように感じる。
- 6年生の「郷土愛」は難しい。小学校でこのようなことをやることに驚いた。

#### 【体育】

- 給食に来た方に対して話しかけて、人なつっこさを感じた。
- リレーで競走意識とともに仲間意識も育てる工夫があるとよい。

#### 【そのほか】

- 発達段階の応じた指導をしていることに感心した。(例・・・ペえじ)

### ふれあい授業について

- 地域の方を講師に招いて授業をやるのはとてもよい。
- 「足浴」に感心した（介護的な内容）。
- 「読み聞かせ」にもルールがあることを初めて知った。
- 「読み聞かせ」がよかった。(ご意見多数)
- 動物に関しては、犬と猫しかいなかったもので、柵内にいるものではなく、実際にふれられるものがあつたらよいのではないか。

### その他

- 日枝小学校は土曜参観の父親の参加率が高い。
- 子どものトラブルが起きたとき、時間をかけてじっくり話を聞くのが大変だと思った。
- 最近の保護者は過保護・過干渉である。もっと子どもにやらせた方がよい。それが気になる。

※ 懇話会の会則、構成メンバー選出基準が変更になった。それにともなって、会長・副会長が決定した。